



11月の園だより



学校法人志賀学園

認定こども園平第一幼稚園

令和6年10月31日

暮秋の候、保護者の皆様には、日頃より園へのご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。先日の秋季大運動会では悪天候による開催日の延期などによりご協力いただき重ねて御礼を申し上げます。運動会では子どもたちが日ごろの保育の中で楽しんでいるダンスや遊びを競技に用いて行いました。その中でも、今年度の新しい取り組みとしてさくら組で披露した「組体操」です。「組体操」は、例年取り組んできた種目ですが、今年は組体操の技を子ども達で話し合ってどんな組み方にするのか、技名なども意見を出し合いながら進めてきました。子どもたちも自分たちで決めていいことがわかると「どんなのにする?」、「名前かっこいいのいいよね」などそれぞれにお友だち同士でわくわくした表情で話し合いをしていました。子どもたちが「話し合う」時間を設けることで自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手の気持ちにも耳を傾けながら気持ちを共有して1つのことに取り組んでいく協調性が育まれていました。

また、今年度から乳児クラスも運動会に参加したことで園全体でも雰囲気作りができ、それぞれの学年で今の子どもたちの成長を保護者の皆様にお届けできたのではないかと感じました。

今日から11月に入ります。日が沈む時間帯も早くなり、季節の変わり目を感じる季節にもなりました。季節の移り変わりとともに感染症が流行しやすい時期にもなります。園でも基本的なうがい、手洗いなどの感染対策だけでなく、くしゃみをする際には相手への飛沫を防ぐためにも口に手を添えるなどのマナーの部分も普段の生活の中で子どもたちに伝えております。メールや保健だより等でもお知らせしておりますが、体調が優れない場合にはお仕事なども年末が近づき、お忙しいとは思いますが、早めの受診・処置が大切になってきますので、ご理解とご協力をお願い致します。

「11月の子どもたちの特性」【仲間意識期】

エピソード「共同制作でのワニチームの取り組み」

さくら組では、作品展の題材としてかみね動物園へ遠足に出掛けたことをきっかけに「かみね動物園」の動物たちを表現することになりました。遠足の際に、調べたい動物に合わせてグループを作ったことで制作活動でもグループでの制作がスタートしました。ワニチームでは、段ボールを中心とした材料でワニ作りに取り掛かりました。その中で「ワニの背中がギザギザしていたからどんな風にしようね」とAさんから提案がありました。するとBくんから「たまごのパックがいいんじゃないかな」と提案がありグループのお友だちもお「いいね」、「黒い紙入れたらもっとワニっぽくなるよ」など追加の提案があったりと意見を交換し合いながら時には作りながら話したり、丸くなって集中している話をしたりと自分たちのそれぞれの思いを伝え合いながら取り組んでいました。

【育ちの読み取り】

日頃より、制作あそびに必要なコーナーが廊下やお部屋にあることで子どもたちが自由に伝える環境が設定されていたことで制作に対する意欲が表れていました。

また、自分たちが経験したことを元に活動に取り組むことでよりイメージがしやすく、また同じ経験を共にしたグループの仲間との制作という点が相乗効果として子どもたちの活動への積極性を高めていました。

身近な物の性質を遊びながら理解し、遊びの中で用いたり、何をどこで用いるかを試行錯誤できるように先生も援助を行っています。また、遊びを面白くしようという共通の目的に向かって、お友だちと一緒に考え、意見を交わしながら仲間意識が深まる姿が見られています。



【作品配置をグループで考えている場面】



【試行錯誤しながらワニの水槽作り】



【材料を組み合わせて制作】